
「けいおん！」が始まらない!?

白峰黒子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「けいおん！」が始まらない!?

【Nコード】

N6532K

【作者名】

白峰黒子

【あらすじ】

タイトルの通りです。

ギャグです。短いです。わけわかないです。

(前書き)

アニメは一切見ていないので、原作を読んでいないと分からない場面がいくつもあるかもしれません。
てか最初に謝つときます。
こんな小説書いてすみません！

「けいおん！」がすぐ終わる

律「高校は運動部に入ってみるか」

けいおん！ 完

律「漣っっ！！ クラブ見学に行こうぜ！」

漣「私、高校生活は勉強に専念するから」

けいおん！ 完

漣「クラブ見学？」

律「軽音部だよ、軽音部！」

漣「私、文芸部に入るつもりだから」

律「じゃあいいや」

けいおん！ 完

漣「私、文芸部に入るつもりだから」

律「えー！！マジかよ」

漣「律も一緒に文芸部に入らないか？」

律「……そうするか」

けいおん！ 完

律「すいませ〜ん！軽音部に入部したいんですけど！」

さわ子「軽音部なら去年廃部になったわよ」

けいおん！ 完

さわ子「今月中に5人入部しないと廃部になっちゃうの」

けいおん！ 完

澁「廃部なら仕方ないな。」
律「そうだな」

けいおん！ 完

紬「合唱部の見学はまた今度にしよう」
律「……誰もこねー」

けいおん！ 完

紬「あの一、見学したいんですけど……」
合唱部員「どうぞ、好きなだけ見てっね」

けいおん！ 完

紬「あのー、見学したいんですけど……」

律「軽音部の!？」

紬「いえ、合唱部の……」

律「合唱部は向こうの教室だ!」

けいおん! 完

律「軽音部に入りませんか?今部員が少なくて……」

紬「お断りします」

けいおん! 完

律「あのときの約束は嘘だったのか!？」

透「なぜそれを!？」

けいおん! 完

律「それで7:3ねって」

ゴン（律につっこむ音）

漣「捏造するな!!」

紬（つまらないなあ〜この二人）

けいおん！ 完

紬「なんだか楽しそうですね。キーボードくらいしかできませんけど、私でよければ入部させてください」

律「キーボードはいらないんです」

けいおん！ 完

律「ありがとーっ!!これであと一人入部すればっ!!」
すでに教室内に漣の姿はなかった。

けいおん！ 完

唯「高校ではまじめに勉強しよう！部活に入ってる暇なんてないよね！」

けいおん！ 完

唯「やっぱり部活に入った方が良いのかな？」
憂「それよりも家事を手伝って〜！」

けいおん！ 完

唯「……う〜ん……」
和「…何うなってるのよ唯」
唯「あ、和ちゃん…どの部活入ろうか、まだ迷ってて…」
和「あんた部活してる余裕ないでしょ」

けいおん！ 完

唯「あ、和ちゃん…どの部活入るつか、まだ迷ってて…」
和「え！？まだ決めてなかったの？もう学校始まって一ヶ月経って
るよ？」

けいおん！ 完

和「はあ…こつやってニートが出来上がっていくのね…」

唯「部活していないだけでニート!？」

和「まあ…唯らしいけど…」

唯「なら大丈夫だね！」

けいおん！完

唯「和ちゃんはこの部活に入るの？」

和「私は部活じゃなくて生徒会に入るつもりだから」

唯「じゃあ私も生徒会に入る！」

けいおん！ 完

唯「とりあえず文芸部ってところに入部してみましたっ！」

けいおん！ 完

唯「えー？私ギターなんて弾けないよ…」
和「じゃあ辞めるしかないわね」

けいおん！ 完

ポンツ（肩をたたかれた音）

唯「ひいつ！？」

律「うちの部の前で何やってるの？」
唯は全速力でその場から逃げ出した。

けいおん！ 完

律「うちの部の前で何やってるの？」

憂「あ…さつき入部届を出した平沢ですけど…あれをなかったことに」(唯に頼まれ変装)

けいおん！ 完

紬「他に入りたい部活とかあるの？」

唯「うん！」

けいおん！ 完

律「それならさ、私たちの演奏一度聞いてから、入部するかどうか判断しない？」

唯「別にいいです」

けいおん！ 完

唯「え？演奏してくれるの？」

律「…やっぱやゝめた」

けいおん！ 完

唯「え？演奏してくれるの？」

律「もちろんいいわよっ！」

紬「…あら？でも今みんなの楽器は全部修理に……」

けいおん！ 完

ジャーン！（演奏が終わる音）

律「えへへ…どうだった？」

唯「ZZZ」

律「！！寝てるし！！」

けいおん！ 完

唯「なんていうか…すごく言葉にしにくいんだけど……あんまりうまくないですねー！！」

律・漣・紬「」「出てけ！！」「」

けいおん！ 完

唯「でもなんだか、楽しそうな雰囲気が伝わってきました……で
もそれとこれとは話が別です」

けいおん！ 完

漣「ありがとう。これから一緒にがんばろう！」

唯「あ……でも私、全然楽器できないし……」

漣「やっぱり辞めてもらっていいかな？」

けいおん！ 完

唯「あ！マネージャーとかどうかな！？」

漣「よし！それでいいこう！」

けいおん！ 完

唯「うーん……けいおんぶ……がんばるぞ〜……」
憂「お姉ちゃん！早く起きないと遅刻するよー!？」
ガバツ（唯が起き上がる音）
唯「……あれ……なんだ、夢か」

けいおん！ 完

(後書き)

初めまして。お久しぶりの方はどうも。白峰黒子です。

こんな駄文を最後まで読んでいただき、ほんとーーーーー
ーにありがとうございます。

こんな自分ですが、なにかアドバイスがあったら是非お願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6532k/>

「けいおん！」が始まらない!?

2010年10月15日20時49分発行